

令和四年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価



小規模多機能ホームおあしす国分

◆事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

令和5年3月16日
小規模多機能ホームおあしす国分
霧島市国分福島三丁目61番3号
電話 0995(48)5262
FAX 0995(48)5263

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(18:00~20:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	4人	0人	15人

前回の改善計画	○初期段階におけるニーズの確認や家族との意見交換は出来るだけ行い、本人へのサービスを不安感を与えることなく開始出来るよう事前のミーティングなどは徹底し行う。また、サービス内容が適切に実行できているかを随時確認しながらサービス内容の修正を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	○概ね実行することができていた。 ○サービス開始時における内容の修正は本人や家族との意見をケアマネージャーが聞き取り内容の変更を行うことが出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	4	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12	2	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	12	0	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	13	2	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○サービス開始前における情報収集、情報共有を行いスムーズな受け入れが出来た。 ○優先すべきニーズを抑えサービス提供をすることが出来た。	

できていない点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○コロナ感染症の影響により利用開始前の面会の制限等で情報を十分に収集出来ないことがあった。 ○コロナ感染症の移動制限などによりご家族と直接お会いできず電話等での聞き取りで対応した。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○利用前の情報収集は可能な限り本人、ご家族より直接意向を聞き取りサービスに反映する。 ○サービス開始時における本人の不安などがあれば原因は何かを早期に探り解消に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(18:00~20:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	4人	1人	15人

前回の改善計画	○本人の「～したい」や個々のゴールを明確化し目標をプランに反映し実行していく。 ○ケアプランが適切に実施されているかモニタリングを行い、個々の目標に向けて職員全員が関わりをもつことが出来るようにミーティング等で情報共有しながら支援を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	○本人の「～したい」と思うニーズを十分には引き出せなかった。 ○ケアプランが適切に実施されているか定期的に職員間で話し合い必要なサービスを提供出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	7	6	1	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7	5	1	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	7	1	15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	4	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ○一人一人のプランを作成し目標を立てて支援を実行出来ていた。 ○定期的にカンファレンスを実施し本人のサービス内容が適正であるか検討を行った。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ○本人の顕在的なニーズはその都度対応出来ていたが、潜在的なニーズを引き出すための情報収集等が不足していた。 ○本人のサービスを利用されていない日の生活等情報収集が不足していた。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ○本人の希望を具体化出来るようコミュニケーションを十分に図り「～したい」という思いを探る。 ○本人だけではなくご家族様、近隣住民の方などからの情報収集に努める。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(18:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	2人	0人	15人

前回の改善計画
○本人とのかかわりの中での「以前の暮らし方」についての把握は10程度を目標とし引き続き取り組む。 ○本人の潜在的なニーズに関しても普段とのかかわりの中での変化を見逃さずに職員間で情報を共有しながらサービスを変更するなど画一的なサービス内容にならないよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
○本人の現在の生活だけではなく過去の生活についての聞き取りが不足していた。 ○本人の生活環境や生活パターンに対応したサービスを提供出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	3	10	0	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	9	0	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	10	2	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	8	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	10	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	○本人の身体状況や健康状態に合わせた生活支援を提供出来た。 ○サービスの提供時に気づいた事は職員間で情報収集を行いサービス内容の変更に繋げることが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	○本人の現在の暮らしだけではなく過去の暮らし等において情報が不足していた。 ○コロナ感染症の問題もあり十分にご家族様などから本人の情報を引き出すことができなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	○引き続き10程度は本人の以前の暮らし方を把握出来るよう職員は各自努める。 ○本人の心身や環境の変化に応じて必要と思われるサービスの追加または変更を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(18:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	9人	4人	15人

前回の改善計画

○本人が事業所を利用されていない時の生活においては情報収集に事業所全体で取り組み、本人が地域とのかかわりを持ち続ける支援を提供する。また、民生委員など協力して下さる方や地域資源の活用、発掘等の活動にも取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

○コロナ感染症の影響もあり地域からの情報収集については積極的に行うことが出来なかった。
○福島地区の自治会や民生委員様との繋がりは切らさず協力をお願いすることは出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	6	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	7	1	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	9	1	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	8	4	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○本人と家族、地域の協力者の皆様との関係を維持しながらサービスを提供する事が出来た。
○本人の生活スタイル・人間関係はサービスを提供する中でケアマネージャーを中心として情報収集しサービスを提供出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○本人のサービスを利用されていない日の生活等情報収集が不足していた。
○コロナ感染症の影響により地域資源の活用が制限された。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○本人が住み慣れた環境で生活を続けられるよう家族や地域住民を巻き込んだ生活支援に取り組む。
○コロナの感染症の状況に十分配慮しながら地域交流に取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(18:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	7人	3人	1人	15人

前回の改善計画
○小規模多機能ホームの特性である、通い、泊り、訪問を本人のニーズに合わせた内容で提供出来るようミーティング等を活用しケアプランに反映させ実行する。

前回の改善計画に対する取組み結果
○概ね実行することは出来ていた。
○地域資源の活用においての活動が不足していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	4	8	2	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	4	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	10	0	1	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	8	1	1	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○小規模多機能ホームの特性を活かしその方に合わせたサービスを必要量提供することが出来た。
○本人のサービスについてはミーティングやカンファレンスを利用し検討することが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○地域の資源を十分に活用したサービス提供は出来なかった。
○新たな地域資源等の発掘や活用においての取組みが十分ではなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
○小規模多機能ホームの特性を活かしたサービスを引き続き提供する。
○地域資源を組み込んだサービスをミーティング等の時間を活用して検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(18:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	3人	5人	7人	15人

前回の改善計画
○コロナの状況を見極めながら外部の会議、研修などになるべく多くの職員が参加出来るよう取り組みを行う。 ○パソコンなどを活用した非接触型の会議などには積極的に参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
○コロナ感染症の影響により非接触での会議等の参加に限定された。 ○管理者やケアマネージャーなど特定の職員しか関係機関との会議などに参加することは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	2	2	11	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	2	11	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	3	12	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	2	13	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○サービス機関等が主催する会議はパソコンを利用した非接触型の会議へ参加することが出来た。 ○学生のサマーボランティアを受け入れた(展示品の提供のみ)	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○コロナ感染症の影響により地域イベントはほぼ行われず、事業所からの参加も自粛した。 ○コロナ感染症の影響により事業所内への立ち入り制限があったため積極的な外部の入室は行えなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○感染予防を徹底した関係機関との協力や地域住民、ボランティアとの交流を事業所内で行えるよう検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(18:00~20:00)

7. 運営

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	5人	3人	15人

前回の改善計画	
○引き続き利用者、家族、運営推進委員の皆様等地域の皆様からの意見を利用者のサービスや事業運営の改善に活かしていく。 ○苦情に関しては迅速に対応し適切な事業運営に努める。 ○地域の一部として事業所が協同していけるよう事業所と地域の繋がり強化に努める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
○本人やご家族からの意見は真摯に受け止めサービスに反映することが出来ていた。 ○事業所の運営における改善は職員会議等の時間を活用し取り組みが行えていた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	6	5	2	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	11	0	2	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	6	2	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	2	6	6	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○苦情対応は早急に対応し改善策についても職員間で意見交換を行うことが出来た。 ○地域交流の一環としての取り組みとして地域清掃に参加することが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○運営推進会議は主に資料配布により行われたため委員の皆様からの生の声を伺う機会が少なかった。 ○コロナ感染症の影響により地域と事業所との交流が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○事業所運営についての意見は真摯に受け止め事業所の改善に取り組む。 ○事業所から地域の皆様に意見を頂けるよう足を運ぶ機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(18:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	4人	1人	15人

前回の改善計画
○部内研修は年間計画を立て介護サービスを提供する上で必要と思われるテーマを職員全体で学ぶ。 ○地域連絡会に参加し交流を行いながら地域の情報を共有する。 ○なるべく多くの職員が外部研修に参加する事が出来るよう勤務調整を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
○部内研修に関しては計画的に研修を行い各自職員が責任をもって学習に取り組むことが出来た。 ○外部研修にも可能な限り勤務調整を行い事業所の職員に参加して頂くことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	8	0	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	2	6	15
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	3	11	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6	4	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	○部内研修は担当制にすることで計画的な研修を実施出来た。 ○パソコンなどを利用した外部研修に職員は参加することが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	○職員の体制が確保出来ず全ての職員が外部研修に参加することは出来なかった。 ○地域連絡会への参加が出来なかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	○部内研修は引き続き計画を立て全ての職員が学習に取り組めるようにする。 ○地域連絡会への所属を増やせるよう努める。 ○資格取得を目指している職員へはサポート体制を確立し合格に近づけるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月27日(18:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 15人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	10人	1人	1人	15人

前回の改善計画
○虐待の無い事業運営は基本として不適切な介護は職員間で注意し合える関係づくりに努める。 ○認知症に関する学習を行い理解を深める。また、認知症に関する理解を家族や地域の皆様にも伝えることが出来るような取り組みを行う。 ○成年後見制度についての学習を計画し知識の向上に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
○身体拘束、虐待は無いことを認めた。言葉かけや表情など細かな配慮に欠けていた。 ○個人情報の保護には同意書を取り配慮が行われていた。 ○成年後見制度への職員全体の知識は欠けていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	3	0	0	15
②	虐待は行われていない	13	2	0	0	15
③	プライバシーが守られている	9	6	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	5	8	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	6	0	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○事業所内での身体拘束、虐待は認められなかった。 ○プライバシーや個人情報に関する保護には事業所全体で取り組む事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○成年後見制度について学習する機会が少なかった。 ○スピーチロック等不適切なケアについて学ぶ等さらなる学習の必要性を感じた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
○不適切ケアとは何かということ随時職員間で意見交換を行い身体拘束や虐待の芽を摘むことの出来る事業所を目指す。 ○プライバシーや個人情報への管理を徹底する。 ○成年後見制度に関する機会を作り職員の知識の向上に努める。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディーコープ	代表者	代表取締役 中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様ができるだけこれまでの生活を続け、その人らしく「わが家」で暮らし続けることができるように支援していきます。また、霧島市の「まちかど介護相談所」としてライフサポートワーカーを配置し、地域からの介護などについての相談窓口となっています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす国分	管理者	前川 和弘		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	1人	1人	0人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の会議や活動の情報を収集し地域との繋がりを切らすことなく事業運営を行う。 ○運営推進委員の皆様には引き続き地域の情報等についてご意見を頂きながら適切な事業運営を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症予防の為資料配布による事業所報告が主となった。運営推進委員の皆様とは関係性を継続する事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ○報告書から事業所の取り組みが良く分かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運営推進委員の皆様や地域の声を聴いて介護事業所の運営や改善を職員全員で取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ○季節感のある作品で事業所内を装飾し雰囲気づくりに努める。 ○利用者をはじめ誰もが交流できる場として気持ちよく事業所を利用出来るような事業所であるよう日頃から環境整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症予防の為、事業所内の外部からの入室を控えていたが概ね室内外の環境整備は整える事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症の影響でなかなか事業所の中を拝見できませんでしたがやっと中の様子を確認することが出来ました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所を常に清潔な状態に保ちどなたでも事業所を気持ちよく利用して頂けるよう努める。 ○観葉植物や野菜、季節の作品作りなど季節に合わせた活動をご利用様と一緒にやる。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の困りごとなどを相談出来る場所として事業所を利用して頂けるよう事業所の宣伝活動に取り組む。 ○コロナ感染症の状況をみながら地域の行事やイベントに出来るだけ参加出来るよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用相談に関しては随時対応することが出来た。地域イベント等に関しては感染予防の為積極的な活動は行われなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症の影響により書面での報告だけでしたので分からない点もありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動や地域のイベントにご利用様と一緒に参加する機会を作り、事業所の事を広く地域の方に知って頂けるよう取り組む。 ○地域の方より介護に関する相談があればいつでも相談を受け支援に繋げる。

受付

5.3.27

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名 株式会社メディコープ	代表者 中道 浩二	法人・事業所の 特徴	利用者様ができるだけこれまでの生活を続け、その人らしく「わが家」で暮らし続けることができるように支援していきます。また、霧島市の「まちかど介護相談所」としてライフサポートワーカーを配置し、地域からの介護などについての相談窓口となっています。
事業所名 小規模多機能ホーム おあしす国分	管理者 前川 和弘		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	1人	1人	0人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の会議や活動の情報を収集し地域との繋がりを切らすことなく事業運営を行う。 ○運営推進委員の皆様には引き続き地域の情報等についてご意見を頂きながら適切な事業運営を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症予防の為資料配布による事業所報告が主となった。運営推進委員の皆様とは関係性を継続する事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ○報告書から事業所の取り組みが良く分かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運営推進委員の皆様や地域の声を聴いて介護事業所の運営や改善を職員全員で取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ○季節感のある作品で事業所内を装飾し雰囲気づくりに努める。 ○利用者をはじめ誰もが交流できる場として気持ちよく事業所を利用出来るような事業所であるよう日頃から環境整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症予防の為、事業所内の外部からの入室を控えていたが概ね室内外の環境整備は整える事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症の影響でなかなか事業所の中を拝見できませんでしたがやっと中の様子を確認することが出来ました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所を常に清潔な状態に保ちどなたでも事業所を気持ちよく利用して頂けるよう努める。 ○観葉植物や野菜、季節の作品作りなど季節に合わせた活動をご利用者様と一緒にやる。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の困りごとなどを相談出来る場所として事業所を利用して頂けるよう事業所の宣伝活動に取り組む。 ○コロナ感染症の状況をみながら地域の行事やイベントに出来るだけ参加出来るよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用相談に関しては随時対応することが出来た。地域イベント等に関しては感染予防の為積極的な活動は行われなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染症の影響により書面での報告だけでしたので分からない点もありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動や地域のイベントにご利用者様と一緒に参加する機会を作り、事業所の事を広く地域の方に知って頂けるよう取り組む。 ○地域の方より介護に関する相談があればいつでも相談を受け支援に繋げる。